

【1 分解説】インパクト投資とは？

総合調査部 研究理事 河谷善夫

インパクト投資とは、財務的リターンだけでなく、貧困や差別、環境、教育、福祉などの社会的課題の解決を測定可能な形で同時に達成しようとする投資行動を指し、基本的には機関投資家により行われるものです。投資判断は、リターン・リスクという従来の要素に加え、インパクトという社会的・環境的要素を加えた3次元の評価軸に基づくこととなります。

インパクト投資は財務的リターンが一般的投資を下回る場合もあります。しかし社会的価値と経済的価値の両立を意図する点で、財務的リターンを目的としない寄付や助成、ベンチャーフィランソピー等との活動とは異なるものです。

ここ数年でインパクト投資市場は急速に拡大し、投資手法の多様化も進んでいます。一方、「インパクト・ウォッシング」といわれる名ばかりの投資形態の増加の懸念が高まっています。インパクト投資の健全な発展に向け、原則や要件等の明確化が国際的にも進んでいます。我が国でも金融庁が2024年3月に「インパクト投資（インパクトファイナンス）に関する基本的指針」を策定・公表しました。この指針では、インパクト投資に期待される原則的・一般的要素を、①意図、②貢献、③特定・測定・管理、④市場変革等の支援の4つに纏めています（資料）。

資料 インパクト投資の要素について



(出所)金融庁公表資料より抜粋。